

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
目的	〇県民が、全国に誇る島根固有の歴史・文化に理解を深め、次の世代へ保存・継承するとともに、魅力ある地域づくりのために、積極的な活用を目指します。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
島根の歴史・文化が豊かで、文化財の保存・継承と活用がされていると思う人の割合	目標値		68.8	69.2	69.6	70.0	%	目標値								
	取組目標値							取組目標値								
	実績値	68.5	70.0	67.4				実績値								
	達成率	-	101.8	97.4	-	-		達成率	-	-	-	-	-	-	-	%
定性目標	目標値						%	目標値								
	取組目標値							取組目標値								
	実績値							実績値								
	達成率	-	-	-	-	-		達成率	-	-	-	-	-	-	%	
平成28年度～平成31年度																
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）																

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> 島根の考古、古代史、中・近世史、民俗の基礎研究や島根の特徴的な歴史文化をテーマとした調査研究を行うとともに、研究成果を基にした講演会の開催や、多くの県内外の方々に島根の歴史文化の魅力を知っていただくための講座やイベント等を開催した。平成29年度に実施した講座、シンポジウム等に約6,400人の方に参加いただいた。 新たに国指定史跡3件、国指定名勝1件、国指定天然記念物1件が指定された。県指定文化財では、新たに「田和山遺跡出土遺物」が指定され、また「隠岐の牛突き風俗」が追加指定された。国・県指定文化財について、平成29年度は43件の文化財の保存のための助成を実施した。 普及活用事業として、心に残る文化財子ども塾(26回)や、いにしえ俱樂部(4回)、まちあるきイベント等(20回)等を実施し、1,801人の参加者を集めた。
---	--

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価 A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる(見直す点がある) C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> 島根県の歴史文化に関するシンポジウムや連続講座、巡回講座、ワークショップ、セミナーなど様々な情報発信を行い、県内外の多くの参加者を集め、その反応も良好で興味関心も高まるなど、文化財や地域の歴史文化に対する県民の意識は向上してきている。 国史跡などの新たな文化財の指定・登録や、国・県指定文化財の保存修理への助成により、文化財の保存・継承の取組みも概ね順調に進んできており、魅力ある地域づくりのための文化財の活用も進みつつある。 島根県には多くの貴重な文化財があり、今後とも保存修理を進める必要がある。

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況(予測) A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題		<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化に関する理解をさらに深めてもらうため、広く一般県民に調査研究の成果をわかりやすく継続して情報発信していくことが必要である。 歴史文化の活用についても、市町村や、NPO、公民館等の関係機関などとの連携による事業実施を更に進めていくことや、島根の歴史文化のすばらしさを県内外に継続して発信しその関心をより高めていくことが必要である。 保存修理を必要とする文化財が増加しつつある中、予算等の制約もあり、今後十分な対応ができなくなる恐れがある。また、人口減少や高齢化といった社会構造の変化などにより、文化財を多く所有する寺社などで、文化財を保存管理していくことが難しくなっている事例がある。 古代出雲歴史博物館は開館から11年を経過し、文化財の展示・保存上の問題や施設・設備の不具合が生じているので、それらの問題・不具合を解消するためのメンテナンスが必要。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> 島根には出雲の古代文化、世界遺産石見銀山、石見の中世など県内に貴重な歴史文化遺産がある。これらの調査・研究を、市町村や関係機関と連携を深めながらさらに進めるとともに、その研究成果を基に島根の歴史文化の魅力の効果的・継続的に情報発信し、島根の歴史・文化に対する県民の理解を深めていく。特に、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとともに、日本書紀編纂1300年の節目となる2020年には、奈良県と共同で東京国立博物館において特別展「出雲と大和」を開催することにより、国内外に情報発信していく。 今後も市町村や、NPO、公民館などの関係機関と連携を図りながら、島根の歴史・文化、世界遺産や指定文化財などの効果的な活用を進めていく。 保存修理が必要な文化財については、国、市町村と連携して計画的に修理などが実施されるよう努めていく。また、人口減少や高齢化などにより、文化財を守っていく人が減少し保存・継承が難しくなっているものについて、必要な取組みを検討していく。 県内の優れた文化財のうち未指定のものについて、その価値を調査・研究し新たな指定を目指すことなどにより、島根の歴史・文化の次世代への保存・継承を着実に進めていく。 2020年1月から3月に県外で特別展「出雲と大和」を開催するため、展示・保存・管理する文化財が館内に少なくなる。文化財への影響を最小化できるこの時期を捉えて、一定期間休館し、メンテナンスを実施する。
---------------------	---

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
-------	----------------------

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	指定文化財等保護事務	県民が、郷土への愛着や誇りを持てるよう、文化財を将来にわたって確実に継承し、活用できるようにする。	3,219	3,656	文化財課
2	歴史遺産保存整備事業	文化財の滅失や損亡を防ぎ、将来に継承していく。	138,957	127,924	文化財課
3	八雲立つ風土記の丘事業	風土記の丘地内の史跡や文化財を通して県内の文化財への興味・関心を高め、文化財を身近なものと感じるようにする。	61,014	61,174	文化財課
4	古墳の丘古曾志公園事業	古墳などの史跡にふれあう憩いの場所を提供する。	6,141	6,142	文化財課
5	古代出雲歴史博物館管理運営事業	島根の歴史文化に関する研究成果の発信、学習・交流機会の提供により、県内外の方々に島根の歴史文化の魅力発信し、理解してもらう。	356,039	367,934	文化財課
6	埋蔵文化財保護事務	開発にあたり貴重な文化財が破壊あるいは消失しないよう、計画段階で必要な協議を行い、適切な調整がとられるようにする。	14,331	16,760	文化財課
7	文化財活用事業	子供から高齢者までの幅広い世代に島根県の歴史文化を学習する機会を積極的に提供し、ふるさとを誇りに思う心を醸成することで、県民の心の豊かさの向上に寄与する。	2,577	3,177	文化財課
8	埋蔵文化財調査センター事業	開発地域内の埋蔵文化財発掘調査を行いその価値を明らかにして、調査で得た情報を県民に還元すると同時に開発事業と文化財保護との調整を円滑に行い、適正な公共事業の促進を図る。	461,712	711,515	文化財課
9	古代文化の郷「出雲」整備事業	出雲地方に存在する貴重な文化遺産を、野外博物館としてネットワーク化を図り、物語性のある歴史探訪ルートとして活用してもらう。	30,724	25,061	文化財課
10	未来に引き継ぐ石見銀山保全事業	世界遺産「石見銀山遺跡」の調査研究を継続し、適切な保存整備の実施と活用を図ることで、その文化遺産を未来に継承していく。	153,425	132,138	文化財課
11	古代文化研究事業	県内外の人々に、しまねの豊かな歴史文化の研究成果を享受してもらうことで、県民には郷土に対する自信と誇りを高めてもらうとともに、県外の人々には島根県の魅力を知ってもらう。	28,812	35,380	文化財課
12	島根の歴史文化活用推進事業	しまねの豊かな歴史文化を、県民、国民に広め、県民には郷土への自信を培ってもらい、県外の方々にはしまねの歴史文化の素晴らしさを知ってもらう。	79,723	114,668	文化財課
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					